健康課題に対する数値目標と改善状況

健康経営の推進において、プレゼンティーズムや離職率の改善を目指し、メンタルヘルス不調の予防や生活習慣病対策を重点課題として取り組んでいます。

評価指標

「メタボリックシンドローム基準該当率」・「喫煙率」・「ストレスチェックにおける高ストレス者率」を設定しています。いずれも現状値からの改善を目指しています。

評価指標	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度（目標）
メタボリックシンドローム基準該当率	14.6%	15.6%	11.7%	17.2%	18.8%	16.0%
喫煙率	17.9%	18.1%	16.2%	16.9%	16.4%	15.0%
ストレスチェックにおける高ストレス者率	12.8%	13.0%	14.5%	12.9%	13.7%	12.0%

改善状況

生活習慣病対策では、社員食堂での健康メニュー提供や食事管理アプリの活用促進等に取り組んでいるものの、メタボリックシンドローム基準該当率は 11.7%（2023 年度）から 18.8%（2025 年度）へ上昇しており、重点課題として改善が必要な状況です。一方で、喫煙率は 18.1%（2022 年度）から 16.4%（2025 年度）へ低下しています。また、メンタルヘルス対策を継続しているものの、高ストレス者率は 13.7%と目標値 12.0%を上回っています。プレゼンティーズムおよび離職率の改善に向け、生活習慣病予防とメンタルヘルス対策のさらなる強化に取り組んでいきます。